

松戸市議会議員 Matsudo City Council Member

市民の皆様と！ともに考え！ともに歩む！

戸張ともこ

活動報告

とばり

Tomoko Tobari Activity Report No. 2

安心な暮らしと未来に、今、時（とき）を動かそう。

多様性を認め合い人権が尊重される松戸市に

―― はじめに ――

松戸市は、子育て世代から高齢者まで、誰もが安心して暮らせるまちを目指し、様々な施策が進められています。一方で、日常生活に密接した課題も多く、市民の皆さまからの声がますます重要になっています。
戸張ともこは、現場の声を大切にしながら、「すぐ動く・しっかり届ける」市政活動に取り組んでいます。

活動報告トピックス

災害に備え、いま動く。安心して暮らせる松戸へ、防災対策の強化を

● 避難所環境の改善と分かりやすい情報提供

「どこに避難すればよいのか分かりにくい」、「避難所の設備に不安がある」、「ペットの環境」こうした声が多く寄せられています。

避難所は、災害時に命を守る大切な場所である一方、トイレや備蓄、プライバシーの確保など、環境面での課題も指摘されています。



衛生・備蓄の充実



災害時の簡易トイレ

◆戸張ともこは、

・避難所設備の改善（衛生環境・備蓄の充実）・誰でも分かりやすい避難情報の発信などを求め、安心して避難できる体制づくりを提案しています。

● インクルーシブ防災の強化

災害時には、高齢者や障がいのある方など、支援を必要とする方への対応が大きな課題となります。

「一人で避難できるか不安」、「支援体制が見えない」こうした不安の声に対し、・避難行動要支援者への事前把握と支援体制の整備・地域での見守り・声かけ体制の強化・福祉と防災の連携強化を進める必要があります。



誰一人を残さない支援

◆戸張ともこは、

・高齢者、子ども、外国人、障害を持つ方など、「誰一人取り残さない」視点で、具体的な支援体制の構築を求めています。

● 地域防災力の向上と日頃の備え

災害時に重要なのは、行政だけでなく、地域での助け合いと日頃の備えです。

現在、地域によって防災意識や取り組みに差があることも課題です。



防災訓練の充実

◆戸張ともこは、

・地域ごとの防災訓練の充実・町会・自治会との連携強化・日常からの備えの周知を進めることで、「いざという時に動ける地域づくり」を提案しています。

＜戸張ともこの総括＞

災害は突然起こります。だからこそ、日頃の備えが大切です。
備蓄品は年１回（防災の日など）点検し、期限の６か月前から入れ替えを始めましょう。
「ローリングストック」を活用し、水・食料は５年、トイレや備品は10年を目安に更新します。
また、松戸市の「防災フェア」などに参加し、楽しみながら防災の知識を身につけることも重要です。
「松戸市マイ・タイムライン」を活用して、いつ起こるか分からない風水害からも命を守りましょう。
自助・公助に加え、地域で支え合う「共助」の力を高めていきましょう。



◆戸張ともこは、

現場の声を市政へ届け、市民の命と暮らしを守る責任を果たすため、引き続き全力で取り組んでまいります。

市政へのご意見・ご要望お待ちしております。

戸張ともこ

連絡先 〒271-0062 松戸市栄町5-313-1-東和マンション101
携帯:090-4962-2012 電話:047-712-2012 FAX:047-712-2023
e-mail:tomoko.snoopy11@gmail.com 戸張ともこネット:https://tobaritomoko-net.jp/

ホームページ

質問・答弁の要点をまとめました。

市議会動画
・市議会での答弁動画です。是非ご視聴下さい。

1. 松戸の魅力向上について

＜私見＞
駅での「最初の印象」がまちの評価を左右します。松戸の魅力をしっかり伝えるため、具体化に向けて引き続き働きかけてまいります。

＜質問概要＞
松戸駅は市の玄関口であり、来訪者に対する情報発信の強化が必要であることから、観光協会と連携した観光案内所の駅構内設置を提案。

＜回答概要＞
観光情報発信の重要性は認識しており、設置の可能性について、場所・運営方法・関係団体との連携を含め検討する。

2. 無電柱化推進計画について

＜私見＞
災害時の安全確保のためにも必要な施策です。
長期的視点で着実な推進を求めてまいります。

＜質問概要＞
防災・景観の観点から、無電柱化の進捗状況と今後の見通しを確認。

＜回答概要＞
優先路線から整備を進めているが、コストや調整などの課題がある。引き続き計画的に推進する。

3. 視覚障がい者向け移動支援について

＜私見＞
誰もが安心して移動できる環境づくりは重要です。
新技術の積極的な活用を後押ししてまいります。

＜質問概要＞
視覚障がい者の安全な移動を支えるため、ICT や IoT を活用した歩行支援機器の導入を提案。

＜回答概要＞
技術動向を踏まえ、有効性や実用性について調査・研究を進める。

4. 橋梁点検について

＜私見＞
限られた財源の中で安全を確保するためにも、新技術の活用は不可欠です。
持続可能な管理体制を求めてまいります。

＜質問概要＞
老朽化対策として、ドローンや AI など新技術を活用した効率的な点検の導入を提案。

＜回答概要＞
点検精度やコスト面を踏まえ、新技術の導入について検討する。

5. こども発達センター（吃音などへの支援）

＜私見＞
子どもと保護者の不安に寄り添う支援が重要です。
切れ目のない支援体制の強化を引き続き求めてまいります。

＜質問概要＞
吃音などの課題に対する早期発見・早期支援、専門的支援体制の強化を求める。

＜回答概要＞
関係機関と連携し、相談・支援体制の充実を図る。

＜質疑・応答総括＞

今回の質疑では、松戸の魅力向上、交通・インフラ整備、福祉支援など、市民生活に直結する課題を幅広く取り上げました。

魅力発信や安全基盤の整備、そして誰一人取り残さない支援の必要性について提案しています。

市からは前向きな答弁も示されましたが、重要なのは検討を実行につなげることです。

今後も現場の声を大切にしながら、進捗をしっかり確認し、安心して暮らせる松戸の実現に向け取り組んでまいります。

3月11日市役所現地建て替え方針を表明 ―安全性と利便性の両立へ―

令和８年３月11日、松戸市は老朽化が進む市役所本庁舎について、現在地での建て替え（現地建て替え）を基本方針とすることを表明しました。

事業費は、現地建て替えの方が、55億円も少なくなり、事業期間は1年6ヶ月短縮されます。

現本庁舎は耐震性や設備面での課題が指摘されて、災害時の防災拠点としての機能強化や、市民サービスの向上が求められています。

現地建て替えにより、これまでの利便性を維持しながら、新たな庁舎整備が進められる見込みです。

また、窓口の分かりやすさや利用しやすい動線の確保など、市民にとって使いやすい施設づくりも重要な視点となっています。

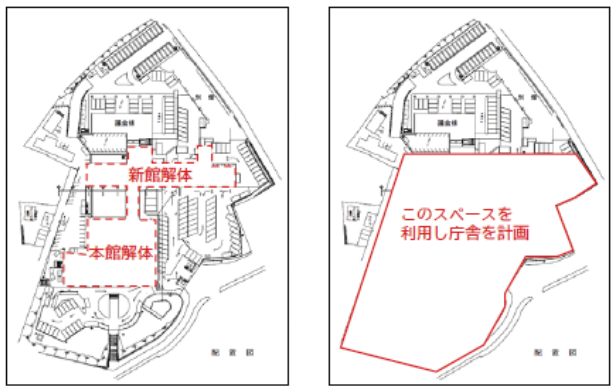
一方で、工事期間中の窓口機能の確保や来庁者の動線、周辺環境への影響、さらには事業費や財政負担などについて、市民の皆さまから不安の声もあります。

特に長期間にわたる工事となることから、日常の利用に支障が出ないよう、丁寧な対応が求められます。

戸張ともこは、こうした課題に丁寧に向き合いながら、分かりやすい情報発信と市民理解のもとで計画を進めていくことが重要であると考えています。

今後も、安全性と利便性の両立、そして将来にわたり安心して利用できる市役所となるよう、引き続き取り組んでまいります。

※以下は現時点の検討資料に基づくものであり、今後の設計により変更される可能性があります。図面等から読み取れる主な内容は以下の通りです。
・中高層の庁舎として整備する方向
・低層部に窓口機能を配置
・上層階に執務機能を集約
・防災拠点としての機能強化を想定



現地立替図面（予定）※松戸市公式サイトから引用

facebook
・活動報告から街の情報提供など。

X（旧ツイッター）
・皆様からのご意見をお待ちしてます。

戸張ともこオフシャルホームページ
・日頃の活動や情報を発信しております。

＜プロフィール＞

1961年（昭和36年）5月生まれ。松戸市在住40年。青森県出身。
東京の信用金庫を10年間勤め、3人の子育てと介護に一時専念。
その後、共働きをしながら、学校の保護者会や地域活動、ボランティア活動等に取り組む。

・松戸市栄町6丁目町会交通部長・松戸市オレンジ声かけ隊オレンジ協力員
・松戸市つながり協力員・松戸市話し方連盟会員・盲導犬を普及させる会会員
・ユニバーサルマナー検定2級・ふるさと鶴田会理事・青森県人会会員
・地域福祉や介護問題に取り組む「〇の会（わのかい）」会員
・食育防災アドバイザー

連絡先：〒271-0062 松戸市栄町5-313-1-東和マンション101
携帯:090-4962-2012　電話:047-712-2012　FAX:047-712-2023
e-mail:tomoko.snoopy11@gmail.com
戸張ともこネット：https://tobaritomoko-net.jp/

編集後記



日本は2026年2月の衆議院選挙で政局が大きく変わりました。中東では米国とイスラエルが2月28日、イランに対して攻撃を開始しました。この行為は、国連憲章2条4項が禁止する武力行使・威嚇に反する「侵略」です。

世界中が疲弊しています。

平和解決を切に望みます。

さて、松戸市では漸く新庁舎移転の方向性が示されました。

「会派・立憲民主党」の頃から一貫して求めてきた、仮庁舎への移転と現地での建て替えが実現します。

4月13日からは、『松戸市暮らし応援給付金事業（全市民一人あたり3,000円の現金給付）』が開始され、申請は令和8年9月30日までです。　事業委託料は、当初の見込みを大きく下回る契約金額（1億4,482万4,168円で(株)JTBが委託業者）となり事務経費削減となりました。

私事ですが、会派に属さず活動して10ヶ月となりました。

会派所属議員と無所属議員との違いを実感しています。

引き続き、市民の皆様のお声を市政に届けてまいります。

松戸市議会議員
戸張ともこ